

耐低温性「ピーマン高育交 13 号」の 現地実証試験での評価

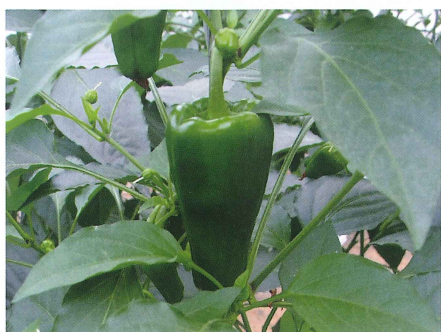


写真1 現地実証試験ほ場の「ピーマン高育交 13 号」(左)と「みおぎ」(右)

表1 現地実証試験での生育・果実・収量特性

調査項目		試験ほ場1		試験ほ場2	
		ピーマン 高育交13号	みおぎ	ピーマン 高育交13号	みおぎ
生育	草勢	中	中	強	中
	主茎径	中	中	中	中
	草丈	中	中	中	中
	節間長	中	中	中	中
果実	光沢	中	中	強	強
	しわ	少	中	少	中
	果ぞろい	良	中	良	中
	色	薄	中	やや薄	中
	長さ	中	中	中	中
	硬さ	中	中	中	中
収量	総果数	中	やや多	やや多	中
	A品率	高	中	高	中

注) 平成31年2月26日、試験実施生産者への聞き取り調査。温度管理は慣行。

促成ピーマンは、慣行では最低夜温18℃で加温栽培されていますが、この温度を下げることであれば燃料費を削減できます。そこで、平成25年度から最低夜温16℃で栽培できる耐低温性ピーマンの育成に取り組み、平成27年度には、5月末までの総収量が「みおぎ」より多かった1系統に「ピーマン高育交13号」の系統名を付しました。

平成29年度から現地実証試験を開始し、

平成30年度に、慣行温度で試験した生産者に生育や果実品質、収量について聞き取ったところ、「ピーマン高育交13号」の草勢は「みおぎ」と同程度かやや強く、果色は薄いですが、しわが少なく、果ぞろいが良く、A品率が高いとの評価でした(写真1、表1)。

令和元年度には現地8か所で実証試験し、実用性を評価しています。

(園芸育種担当 日置優実 088-863-4916)

高知県農業技術センターニュース 第98号 令和2年1月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 竹内 繁治

農業技術センター

〒783-0023

高知県南国市廿枝 1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064

高知市朝倉丁 268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801

吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>